

〈花に集まるお客さん〉

農作業の手を休め、ふっと顔を上げたらダイコンの花にアオスジアゲハが吸蜜に来ていた。急いでスマホを出してチョウを追った。そのままの撮影では被写体が小さいので画面を大きくして撮る。が、動きが速い上に画面いっぱいに入るのですぐにフレームアウトしてしまう。なかなかシャープな画像にはならない。スマホの限界かな。そうこうしているうちにもう一頭のアオスジアゲハが来た。すると追いかけてこが始まりなおさら写真が撮りづらくなる。数枚撮ったところで目を転じると、シュンギクの花の上に何やら動くものが……。目を近づけるとどうやらバッタの幼生ようだ。種類は分からないが、あちこちの花の上に数匹いた。蜜を吸っているのかはたまた花卉を食べているのか、口元を調べてみたかったが、動き回るバッタに老眼でのピント合わせは至難の技。いずれにしろ花にいるということは食事のためだろうと勝手に解釈する。同じ花に今度はハナグモがいた。彼らは花に集まる虫が目当てなのだろう。ここにいれば、獲物にありつけるだろうと虎視眈々とその時を待っている。そのハナグモだっていつ何時天敵の襲撃に会うかもしれない生死の狭間にいるのだ。次の世代を残すための戦いに安息の時はない。カモミールの花にいたのは別のチョウ。残念ながらチョウには詳しくないので同定はできない。シジミチョウの仲間もたくさん飛来するので今年はチョウの仲間が同定できるようその都度写真に撮っておこうと思う。

野菜づくりも楽しいが、こんな風にいろんなお客さんがやってくるのが何とも嬉しい。

